

[A類社会コース, A類現代教育実践コース環境教育プログラム, B類社会コース 対象]

公共 解答例

令和8年度

一般選抜前期

I

問1 ユダヤ人の宗教。唯一神ヤハウェを信仰し、その神との契約を守る。また、ユダヤ人こそが神の選民であるとされる。キリスト教はユダヤ教批判から生まれた。

問2 デカルト

問3 ルソーが『エミール』の中で述べた青年期の特徴。彼によれば、人は二度生まれる。一度目は存在として、二度目は人間としてである。青年期は自我に目覚め、自律して一人前になろうとする新しい誕生の時期である。

問4 テレビやインターネットなどのメディアの情報を正しく読みとり、主体的に活用できる能力のこと。IT社会の中で生きていく上で人は情報の価値を判断する能力や情報を取捨選択する能力を持つ必要がある。

〔A類社会コース，A類現代教育実践コース環境教育プログラム，B類社会コース 対象〕

公共 解答例

令和8年度
一般選抜前期

II

問1 ア 下級裁判所を含む裁判所 イ 法律の留保

問2 天皇

問3 (解答のポイント) この問題は、民主制の原則をどう理解するかによって結論が変わることになる。民主制を、文字通り多数支配と解し、その内容を問わないのであれば、民主制は少数者の基本的人権を侵害しうるので、それを防ぐために違憲審査が求められることになる。一方で、民主制を、個人尊重の原理を基礎とし、すべての国民の自由を確保しなければならないものと理解すれば、まさに民主制の原則から違憲審査が必要となることになる。

問4 (1) 製造物の欠陥により人の生命、身体又は財産に係る被害が生じた場合、民法の不法行為(709条)の過失という抽象的な要件に代えて、製造物が通常有すべき安全性を欠いていることである欠陥というもう少し具体的な要件を主張立証することにより損害賠償請求ができる。

(2) (解答のポイント) 確かに、訴訟の乱発により製品の価格が上昇すれば、消費者にとって損になることが考えられる(そして、問題文にあるように、それによって一部の弁護士が金儲けをするということもあるであろう)。しかし、だからといって被害者が十分な救済を受けられなくともよいのだろうか、という点と、欠陥のある商品を世に出した企業が、本来あるべき負担を免れることは正当であるか(その企業の経営状態が悪くなるだけで、商品の価格に転嫁されないかもしれないし、なにより他の企業の製品は値上がりしないであろう)という点が、問題として指摘されよう。

問5 (解答のポイント) 尊厳をもって死ぬ権利とは多義的であり、いわゆる安楽死との区別もあいまいであるが、日本では患者が死を望んでも同意殺人罪(刑法202条)により可罰的であるし、また、最高裁いわく不作為によっても殺人罪が成立しうることから(川崎協同病院事件判決)、延命治療の中止も殺人罪になりうる。その意味では、日本では尊厳をもって死ぬ権利は法律上は実現していないといえる。死を選ぶことが自己決定権に含まれるのか、仮に含まれるとして国家が有する個人の生命を維持する利益との調整をどうするのか、が問題となろう。さらには、権利が認められたとして、他人に配慮してやむなく死を選ぶことは避けなければならない、それが起こらない手段も考えなければならない。

〔A類社会コース，A類現代教育実践コース環境教育プログラム，B類社会コース 対象〕

公共 解答例

令和8年度
一般選抜前期

Ⅲ

問 1 団結権，団体交渉権，団体行動権

問 2 【回答のポイント】

- ・産業構造の転換により経済のサービス化が進み，もともと組織率が低かったサービス業が主流になったこと。
- ・終身雇用制などの日本型雇用環境が変化し非正規雇用が増加したことから，同一企業で長く組合活動を行うことのメリットが薄れたこと。
- ・労働者の生活や意識の変化により，組合への関心が希薄化したこと。

問 3 年金支給に必要な財源を現役世代がそのときどきに収める保険料により調達する方法で，世代間扶養の考えに基づいている。

問 4 【回答のポイント】

- ・文章で示された雇用の流動化や労働問題を踏まえていること。
- ・公教育の貢献について論じていること。
- ・一定の根拠を持って自分の考えを論理的に提示していること。